



正岡 千博 議員

### ため池百選について

#### 問

- ①ため池百選の選定要件は。
- ②ため池百選にぜひとも参加しようと提案するが、如何か。
- ③上吾川八幡池を候補として選んでほしいと思うが、如何か。

#### 答

産業建設部長

- ①3項目の選定要件を満たすことが条件となっております。1つ目は、農業用の水源としてため池の貯留水が利用され、継続的に農業が営まれていること。2つ目は、ため池の堤体の適切な維持管理がなされていること。3つ目は、農業の礎、歴史・文化・伝統、景観、生物多様性、地域との関わりなどの5つの視点のうち、1つ以上の特徴を有することが要件となっている。
- ②5月の広報区長会で、選定の趣旨・要領を説明し、市で

は、積極的に募集の啓発を行っているところである。

- ③上三谷の大谷池、上吾川の八幡池、宮下の新池の3カ所が今、ため池百選で申請が出ており、本市としても今回3カ所に絞って、ため池百選の選定委員会に申請したい。



上吾川八幡池

### 市道稲荷下三谷線の交通安全対策を問う

#### 問

- ①路面の傷みが激しい、改修と根本的な改修実施計画は。
- ②制限速度毎時40kmを守ろう認識の周知を願う。
- ③はみ出し禁止、追い越し禁止の対応を問う。
- ④県道への昇格を問う。
- ⑤スピード違反取締りと大型車両の通行制限を。

#### 答

中村市長

- ①平成20年度より、5年間で道整備交付金制度を活用し、全線の舗装改良工事を実施している。今年度末での進捗率は48%になる予定で、未改修区間の路面の損傷については、随時応急的に対応していきたいと考えている。
- ④県では、2市1町以上をつなぐ路線や主要施設間を連絡する路線等、広域的なネットワークを形成するものが、県道認定条件として検討されるため、昇格要件に合致しないとの回答を得ている。

#### 答

総務部長

- ②主な周知方法として速度制限標識の設置がある。本路線について伊予警察署に問い合わせたところ、既に県警本部に要望済みで、今年8月頃までに2本程度設置予定ということである。
- ③稲荷、上吾川地区の集落があるが、住宅密集地とは言えず、制限速度毎時40kmで、かつ片側歩道が設置されていることから、この区間を追い越し禁止とすることは交通の流れを停滞させることになり、

困難ということである。

- ⑤今後リーダーパトカーによる取締りを強化するという回答を得ている。大型車両の通行制限については、交通渋滞の頻度や危険性等により判断されるようであるが、2車線の片側歩道つきの幹線道路であり、規制することは極めて難しい状況である。

### 太陽光発電導入を問う

#### 問

- ①市の施設で取り組んでいる現状と、今後の設置に向けての考えを問う。
- ②導入促進への補助対策と県内各市町の取組の現状は。
- ③啓発運動の取組として、協議・研究を行うとはどうか。

#### 答

篠崎副市長

- ①翠小学校エコ改修事業では、渡り廊下及び相撲場の屋根に8・185キロワットの太陽光パネルを設置する計画である。また、今回の国の補正により、上灘中学校改築工事では、校舎屋根に20キロワットのパネル設置を予定、耐震補強不要の小学校7校、中学校3校の計10校の校舎屋上に20

キロワット程度のパネル設置の検討を行っている。

#### 答

産業建設部長

- ②平成21年1月より、国において太陽光発電導入支援対策費補助金制度が復活した。これは、標準的な太陽光発電システムを導入した場合の経費の約1割に相当するものである。今後、個人住宅への太陽光発電システムの導入については、県内11市のうち4市が補助制度を取り入れており、実施市の状況を調査の上、できるだけ早い時期に実施するよう検討を重ねたい。
- 県内で補助金制度を今年度中に実施見込みを含め、5市1町で実施計画を行っているようである。補助金については、太陽電池出力1キロワット当たり1万円から12万円と、実施市町によって格差が生じているのが現状である。
- ③今後、太陽光発電システムの導入を含め、バイオマス等の新エネルギーの活用や省エネ、エコ活動等の啓発及び普及について、国の政策や県・市・町の実施状況を見きわめながら検討したい。